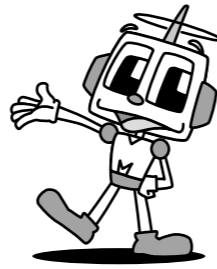




●平成23年度子どもゆめ基金助成金募集

【申込受付期間】平成22年12月5日(日) 当日消印有効
【助成対象】子どもの健全な育成に取り組む団体
【助成金額】申請内容により助成額が異なります。
応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください → http://yumekikin.niye.go.jp/index.html
【問い合わせ】独立行政法人 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部 助成課
フリーダイヤル:0120-579081(携帯電話不可) TEL:03-5790-8117・8118 E-mail:yume@niye.go.jp



●第4回共生・地域文化大賞

【申込受付期間】平成23年1月25日(火)
【助成対象】法人格の有無は問わず、地域文化活動に取り組む市民活動団体など。 ※その他の条件はホームページをご確認ください。
【内容】各部門により表彰額、助成額が異なります。
応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください → http://tomoiki.jp/about3.php
【問い合わせ】特定非営利活動法人きょうとNPOセンター 共生・地域文化大賞運営事務局 TEL:075-353-6292

【三重FPフォーラム 2010 in 松阪】開催のお知らせ

登録団体からのお知らせ

日時:平成22年11月21日(日)午後1時~ 受付:13:30~15:30
場所:松阪市産業振興センター 3F研修ホール(松阪市本町2176番地)
内容:「ライフプランセミナー」予約不要(先着180名様まで聴講可能)
テーマ:「アクティブに生きるためのライフバスケットのなかみ!」~40才から考える財布の健康~
講師:鬼塚真子氏(ジャーナリスト・ファイナンシャル・プランナー)
※来場者には「くらしとお金に関する雑誌3冊プレゼント」(日本FP協会発行)
主催:NPO法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 三重支部
お問合せ先:7-7474 0120-874-018 (10:00~16:00 土・日・祝日除く) FAX 052-563-4645 E-mail:mie_bb@jafp.or.jp
詳しくはhttps://www.jafp.or.jp/shibu/mieをご覧ください。



ファイナンシャル・プランナーによる無料個別相談会 (事前申込制 12組)



家計診断、資産運用、不動産運用、住宅・教育・老後資金、住宅ローン、保険の見直し、年金、介護、相続、事業承継等

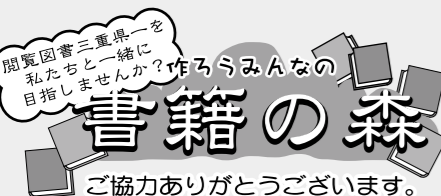


(1) 13:30~ (2) 14:30~ (3) 15:30~

センターからのお知らせ



◎センター休館のお知らせ 氏郷まつり...11月3日(水・祝) 祭り当日は例年通り休館日とさせていただきます。



当センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。

【募集書籍】

ご協力ありがとうございます。引き続き書籍の寄贈を募集中です。 NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

ちょこっと編集後記.....

当センターの「書籍の森」には、今年度版の「CSRレポート」が130冊以上並んでいます。地元企業の皆様、他の企業のCSRについてリサーチするにはもってこいですよ。是非ご来館ください。【S】



次号は2010年12月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。次回の原稿締切は2010年11月30日(火)です。担当/澤

松阪市市民活動センター

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00 松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598-25-3801 (予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

Table with 2 columns: 会議室 (Meeting Room) and 機材等 (Equipment). Rows include room types (大会議室, 小会議室), chair counts, and prices. Also lists equipment like printers and projectors.

利用 (Usage) information: 料金は1時間. 大小会議室の組み合わせ可. 外会議室.....机 8 椅子 24 (400円)

松阪市市民活動センターホームページ http://www.katsudou.com

市民活動情報サイト (登録団体の情報、会議室の空き情報) http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/



アクセス (Access) information: 至松阪IC, 至津, 至伊勢



〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 開館 月曜~土曜日/10:00~22:00
(予約専用) TEL 0598-25-3801 0598-26-0108
FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

~アロマ~ No.31



今号は...国際CANつぶし協会 さんです

「自分たちが楽しみたい」という思いが出発点でね」と国際CANつぶし協会の副会長、中世古二生(なかせこつぎお)さんは語る。国際CANつぶし協会が発足したのは、1996年の夏。アウトドアのクラブに所属していた中世古さんたちは、キャンプで出る缶のゴミを潰して持ち帰っていた。その際、「どうせ潰すなら、面白くやろう」というメンバーの提案から始まったのが「缶つぶし」だ。設立時のメンバーは3名(現在5名)。自ら「国際」と名付けることで、この活動に対する志を高く示し、会員は「わたしはпой捨てしません」と、意思表示する。「自分たちの楽しみ」に「社会貢献」を加え、「まじめに楽しむ」という姿勢に市民活動らしさが感じられる。発足年には「第1回国際CANつぶし大会」を開催。その後も各地のイベントに出向き、缶つぶしゲームで盛り上げながら、福祉やエコを伝える活動を行っている。



国際CANつぶし協会 副会長:中世古さん

わず参加する人たち全てが楽しめるよう配慮されている。イベント中の危機管理も徹底しており、10年以上に及ぶ活動の中で、一度も苦情やケガがないという。

また福祉団体と協働することで活動に広がりが出た。県事業がきっかけとなり、アルミ缶回収の収益金で車いすを福祉のために寄贈していた福祉団体「ハートグループ」の山崎誠さんと出会ったのだ。この出会いをきっかけに同協会では、潰したアルミ缶全てを山崎さんに託すようにした。その収益金で購入した車いすは、現在、学校での体験用の車いすとして活用されているほか、来年には更に1台が松阪市内の特別養護施設へ寄贈される予定だ。



毎年8月に行われる「七夕祭り・餘の言市」の様子

缶つぶしは、アルミ缶をいかに薄く、きれいに潰せるかを競うゲームだ。競技者は、専用のリングの上で350ccのアルミ缶を片足で思いっきり潰す。潰した缶の厚さ・直径を計測し、そのポイントが低いほど高得点となる。「やっぱりいい記録が出たときは盛り上がるね」と中世古さん。考案したこのゲームが誰もが楽しめるよう、ルールと器具について何度も試行錯誤を重ねた。競技に使用する専用のリング・計測機などは安全面を考慮しつつ、全てを手作りで仕上げる。また、ルールにいたっては老若男女間

地道に活動を続け、今では関東・中国・四国・九州など各地にも支部が生まれ、それぞれが独自に活動を展開している。なんとアメリカでもイベントが開催されたこともあるというから驚きだ。誰でも、どこでもすぐに取り組めるような明確なルール(仕組み)を確立すれば、活動は自ずと広がっていくという良い例だ。それでも中世古さんは奢ることなく「これからも地道に地域で活動していきたい。イベント等で声をかけてもらったら出展しますよ」と語る。イベントなどが増える秋、新しい盛り上げ方の1つとして「国際CANつぶし協会」にお願いするのも面白いのではないだろうか。

【国際CANつぶし協会】に関するお問い合わせは... TEL: 0598-73-3425 (中世古さん) URL: http://homepage3.nifty.com/ICCS/

告知 募集

あの人気講座が再び!

一色で勝負!

2010

平成22年 **11月26日** 金

19:00~21:30

松阪市市民活動センターにて



【講師】… デザインオフィス アトリエアートマン
代表：澤 卓哉

【講座内容】… パソコンにたよらないチラシ作りのコツ
カラーに負けないモノクロチラシのコツ
モノクロコピー機、輪転機で作るチラシのコツ など

【受講料】… 2,000円
※受講料は諸経費を除く全額を市民活動のサポートに活用させていただきます。

【定員】… 先着20名程度

【締切】… 11月19日(金)までにお申込みください。

【申込】… 講座参加には事前の申込みが必要です。
 ・メールの場合は…
 件名を「チラシ作り講座「一色で勝負!」申込み」とし、「氏名」、「住所」、「職業」、「連絡先」を明記の上【katsudou@ma.mctv.ne.jp】に送信してください。
 ・お電話の場合は…
 上記の項目をお聞きますのでお伝えください。【0598-26-0108】

【お問合せ】… TEL : 0598-26-0108
Mail : katsudou@ma.mctv.ne.jp
※松阪市外の方も受講できます。

パソコンにたよらないチラシ作りのコツ教えます!
 と、言いつつこの紙面は隔々までパソコンで作られていることはお許しくださいね(^_^)それはさておき、「チラシはカラーじゃないと目立たない!」とよく耳にしますが、本当にそうでしょうか? モノクロ(一色)チラシでも効果的な表現方法はたくさんあります。「ちょっとしたコツ」を実践するだけで、チラシの効果は大きく変わります。2008年5月に当センターで開催したチラシ作り講座「一色で勝負!」は、おかげさまで定員を大幅に超える人気講座となりました。

そこで、前回の講座を受講できなかった方、また、前回受講したが再度学び直したい方のために「一色で勝負! 2010」として講座を開催いたします。広報費用を抑えた効果的なチラシ作りのコツを身につけるチャンスです! 学んだコツを是非とも皆さんのボランティア活動や市民活動にお役立てくださいね。

松阪市市民活動センター

報告 普通救命講習を開催しました

全国的にも防災意識が高まる9月。松阪地区消防本部消防課の講習担当者をお招きし、「普通救命講習」を開催しました。限られた時間内に多くの知識と技能を身につけようと、参加者は講師の話に耳を傾けている様子でした。しかし、堅苦しい話ばかりではなく、会場の空気は終始穏やかでしたよ。印象的だったのは「ショッピングセンター駐車場で人が倒れているのを発見。自分以外に誰もいない場合どうしますか?」といったテキストには載っていない具体的な例題を挙げていただけたこと。この場合の対処法も聞くことができ、本当に充実した講習となりました。こうした講習を受けたことがあるとないでは、いざという時の対処に確実に差がでます。適切な対処法を身につけるチャンスがあれば積極的に参加してみましょう。



当センターのスタッフは全員が本講習の受講経験者です。また、センターに設置された「AED」のバッテリー寿命やパッドの交換時期など適切に管理されていますのでご安心ください。

今回、受講できなかった方、興味はあったが日程が合わなかった方はご連絡ください。希望者が一定人数集まった段階で、再度講習を開催できるよう手配いたします。
0598-26-0108 (担当/澤)

「松阪の一夜」をご存知ですか?



皆さんは松阪が誇る歴史的偉人、本居宣長さんは知ってますよね。では、当センターの所在地(日野町788カリヨンプラザ)が、宣長さんを語る上でとても重要な場所であることはご存知ですか? その詳細が記された「松阪の一夜」と題されたパネルが、当センターの入り口付近に展示されています。このパネルは観光ガイドのボランティアの方々を活用されており、この場所が宣長さんに縁のある大切な場所であることが紹介されています。

写真を見ていただくとお分かりの通り、歴史好きな方や宣長さんのファンがこの地を訪れ、パネルを見ながら約250年前に起きた宣長さんと賀茂真淵(かものまぶち)の“歴史的な出会い”に想いを馳せています。どうですか皆さん、パネルに記された内容が気になりますか? 宣長さんについて詳しく知りたい人は是非とも足をお運びください。

今号のAROMAが発行される頃には、当センターの休館日でもご覧いただける場所にパネルが新設される予定です。松阪の歴史ロマンが詰まったパネルを是非ご覧いただきたいと思います。

※「松阪の一夜」パネルは2004年に「宣長電子データ制作の会」によって作られたパネルです。

告知 氏郷まっりに出店しますよ

今年も当センターは「氏郷まっりに」に出店しますよ。早いものでセンターとしての出店も今年で5年目となります。今年も市民活動のPRなどで街の賑わいづくりに貢献したいと思えます。また、当センターからの呼びかけに快く賛同していただいた地元企業のCSR活動のPRも予定しています。CSRは一般的に「企業の社会的責任」と訳され、なんだか堅苦しい印象もありますが「まちづくり」の一環として地域のお祭りに参画することもCSR活動の1つであるといえます。10万人規模のお祭りで、当センターのことや、地元企業のことをより多くの人に知ってもらうために元気に出店しますので、当センターのブースまで是非、足をお運びください。皆さんとお会いできることを楽しみにしています!

平成22年 **11月3日(水・祝)**
9:00~16:00
 会場: 松阪駅前商店街周辺

氏郷まっりに
 ミライちゃん! 見て見て! 作ってみたいよ! 見せて!

身近なCSRを探して vol.3 女子高生×商店街がコラボ 「シャッター通りに明るさを」 新町商店街・松阪工業高校



当センターに近い、新町商店街の空き店舗のシャッターに松阪にまつわる絵が描かれているのをご存知でしょうか? 松阪牛、宣長さんを連想する鈴、祇園祭の神輿や新町商店街の地図などが明るい色彩で描かれています。

実はこの絵、県立松阪工業高校の女子高生3名の力作なのです。この女子高生と商店街のコラボレーションは今年、新町商店街振興組合が空き店舗が目立つ通りのイメージアップと活性化をめざして、松阪工業高校にペイントを依頼したことから実現しました。制作には繊維デザイン科の生徒3人がボランティアであたり、夏休み期間中に約6日間をかけて仕上げました。生徒たちはペンキやシャッターなど慣れない環境に奮闘しながらも「大きなキャンパスで豪快に描けるのが楽しい」と生き生きと描いていきました。見守る商店街の人々も「寂しかったシャッターに若い人の感性が入って明るくなった」と喜んでおられました。

こうやって、地元の高校と商店街が連携することもCSRの多様なカタチの1つです。商店街にとっては高校生に発表の場を提供すること、高校にとっては商店街の活性化に貢献すること——お互いに有意義な連携こそ、これからのCSRに重要な部分といえます。